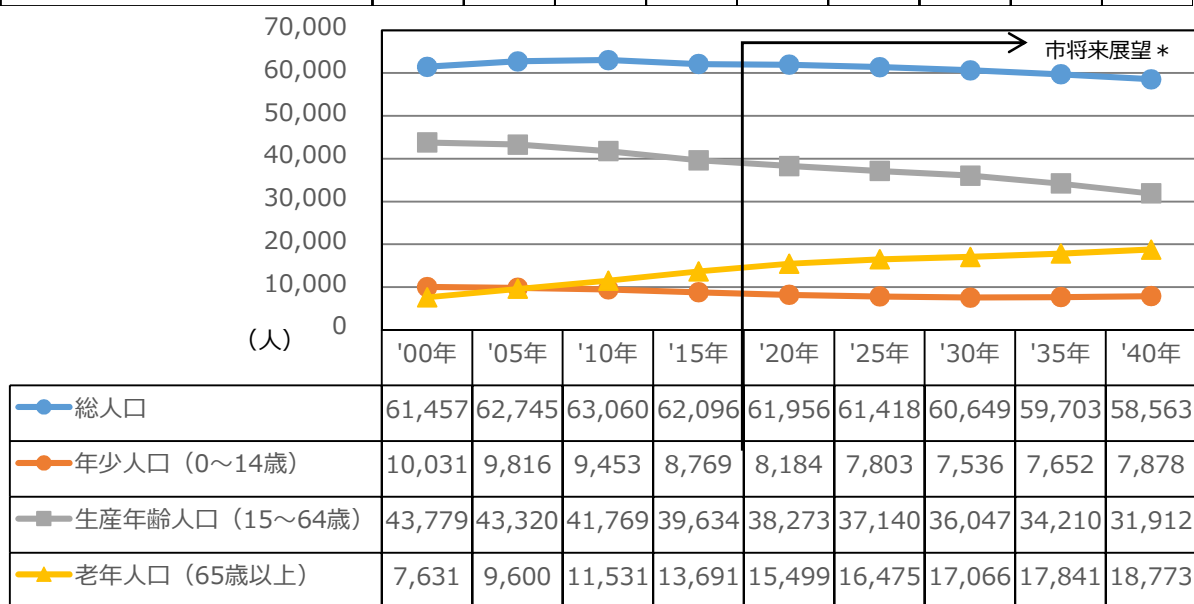
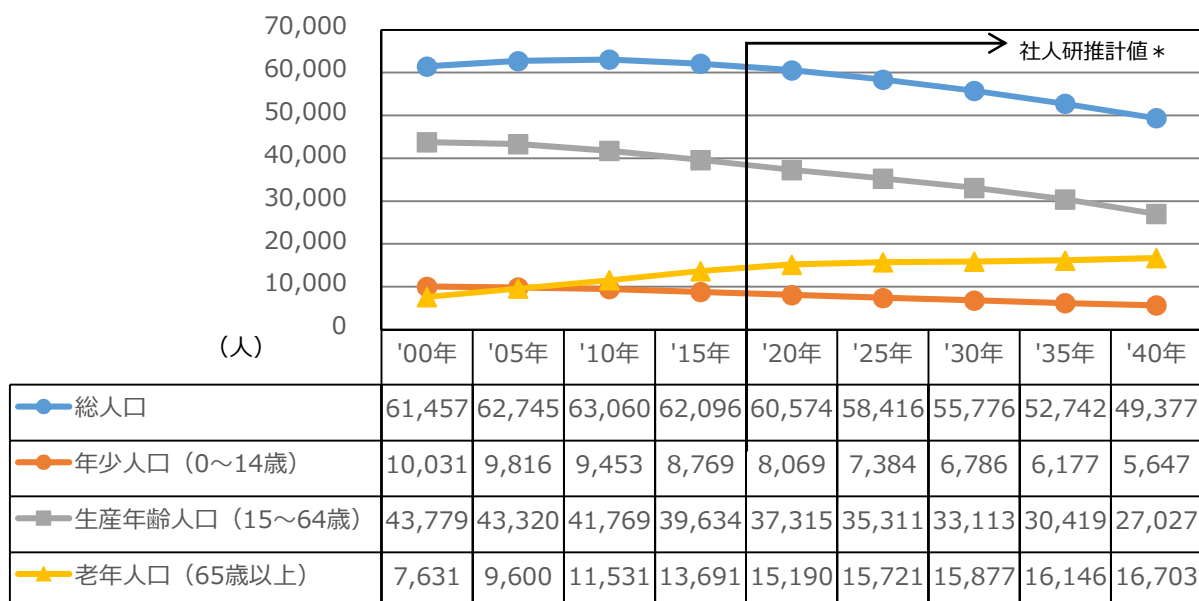


第2章 多賀城市の現状

1 人口・世帯の状況

(1) 人口の推移・推計

全国同様に人口減少時代の影響を受け、年々減少傾向が続く予測となっています。



資料：第六次多賀城市総合計画

2015年までの数値は国勢調査（総人口には国勢調査時点での年齢不詳者を含む。）、2020年以降の数値は社人研推計値

*社人研推計値…国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による将来推計人口であり、人口変動要因である出生、死亡、国際人口移動について、それぞれの要因に関する実績統計に基づいた人口統計学的な投影手法によって男女年齢別に仮定を設け、推計している。

*市将来展望…現状分析で把握した課題を踏まえつつ、市民の結婚・出産・子育て、都市計画等、目指すべき将来の方向を提示し、自然増減や社会増減に関する見通しが立つよう推計している。

(2) 人口の移動率

仙台市近郊の住宅都市であり、転入・転出が多く、県内市町村では高い状態が続いています。

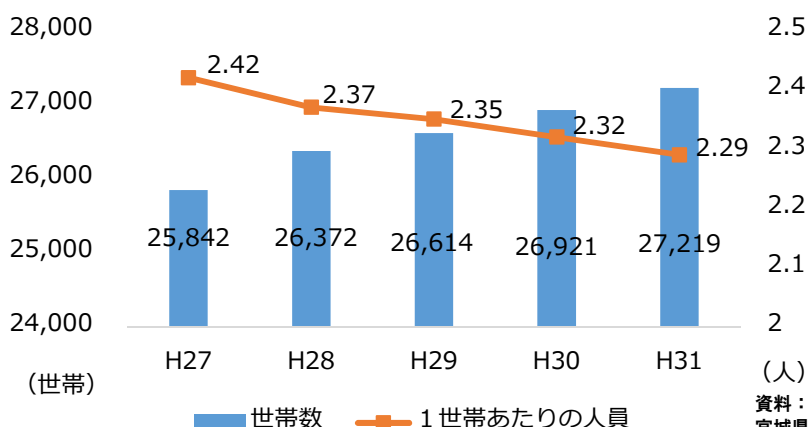
年度	移動率 (%)	県内市町村順位
H27	13.16	第2位
H28	13.53	第1位
H29	13.19	第1位
H30	13.37	第1位
H31	13.05	第1位

※移動率 = 移動者数 ÷
当該年度の12月末人口

資料：
宮城県震災復興・企画部統計課
住民基本台帳人口及び世帯数（年報）

(3) 世帯の状況（世帯数と人員の推移）

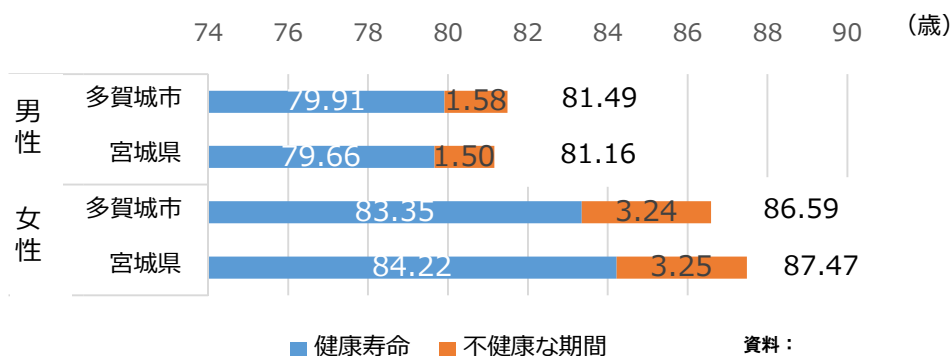
平成31年度時点で27,219世帯となり、年々微増傾向が続いています。一方で、1世帯あたりの人員については、低く推移しており、核家族及び単身世帯の割合が多く、今後も増加が続く見込みです。



資料：
宮城県震災復興・企画部統計課
住民基本台帳人口及び世帯数（年報）

(4) 健康寿命*の状況

平成27年～29年の健康寿命は、宮城県と比較すると、男性は長く、女性は短い状況です。



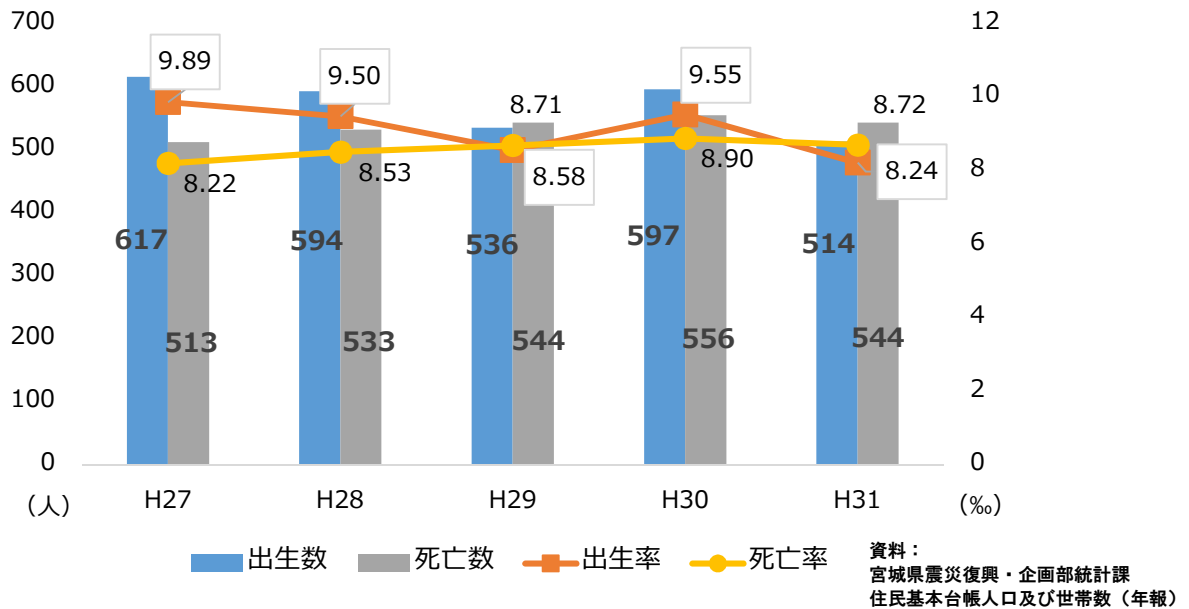
資料：
データからみたみやぎの健康

*健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を指す

2 出生・死亡の状況

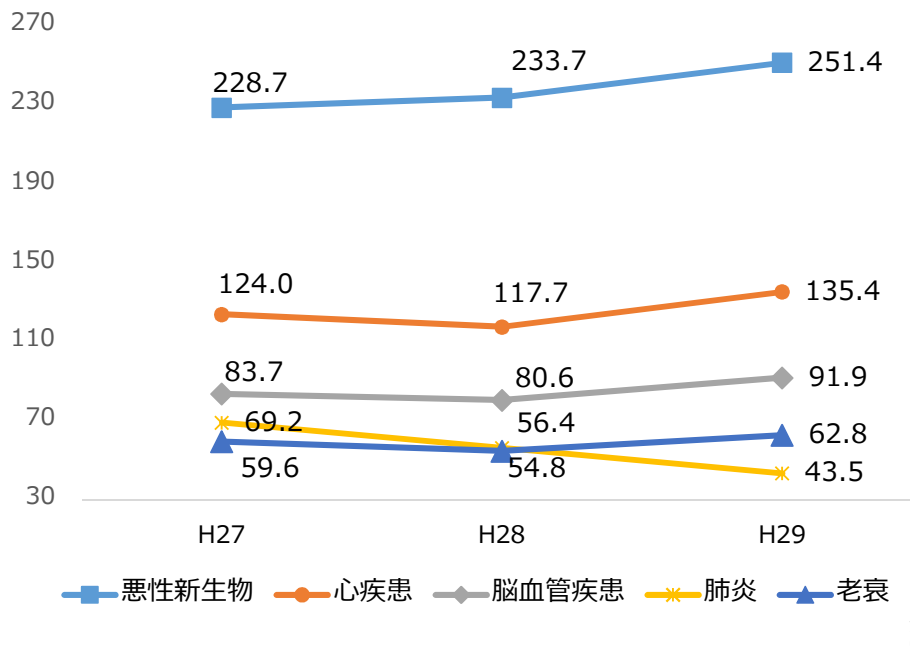
(1) 出生・死亡の数及び率（人口1000人あたりの出生数・死亡数）

出生数は平成27年度から減少しており、今後も減少傾向が続くものと予測されています。また、高齢化に伴い、今後、死亡数が増加していく状態が続く見込みです。



(2) 原因別死亡率（人口10万人対）の状況

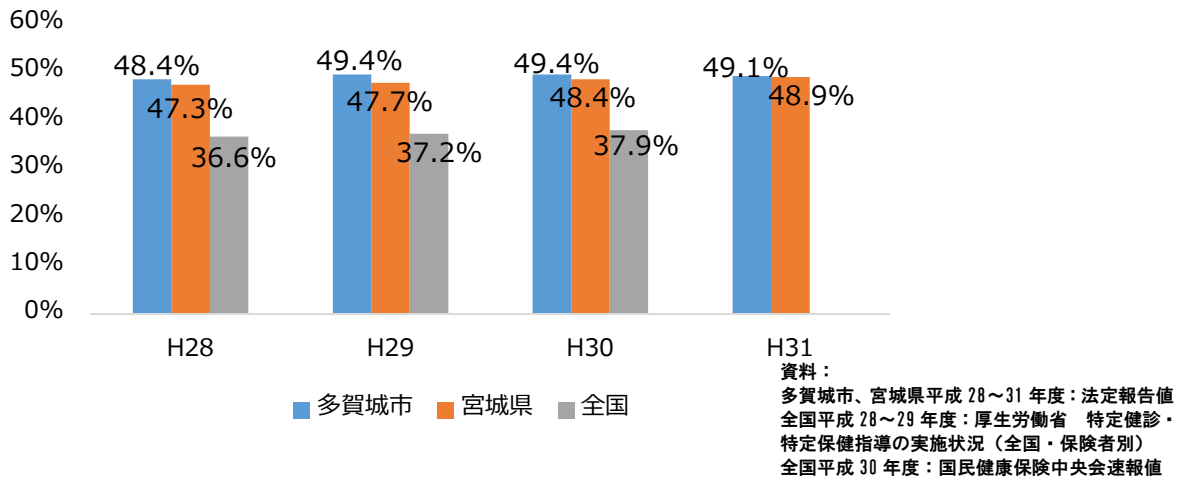
死因の第1位は悪性新生物（がん）であり、年々増加している状況です。次に、心疾患、脳血管疾患が続き、生活習慣病関連等での死因が多い状況です。



3 各種健（検）診の受診状況

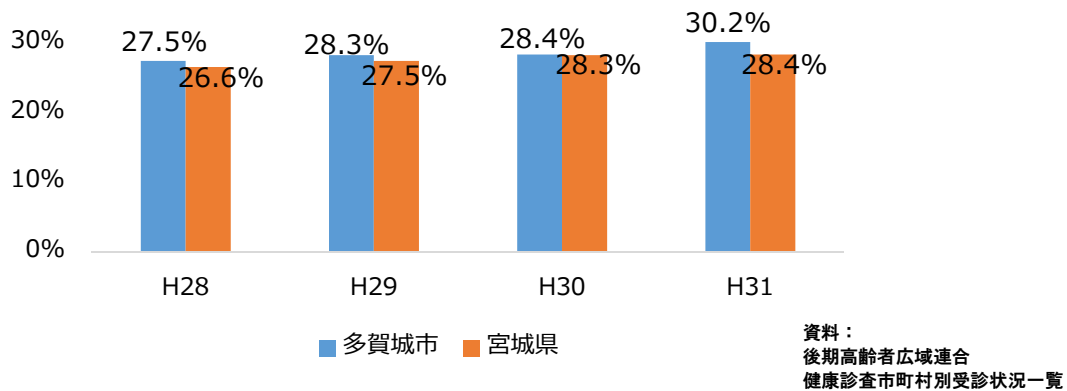
(1) 多賀城市国民健康保険特定健康診査の受診率

例年49%前後で推移しており、宮城県や全国の平均受診率よりも高い状況です。



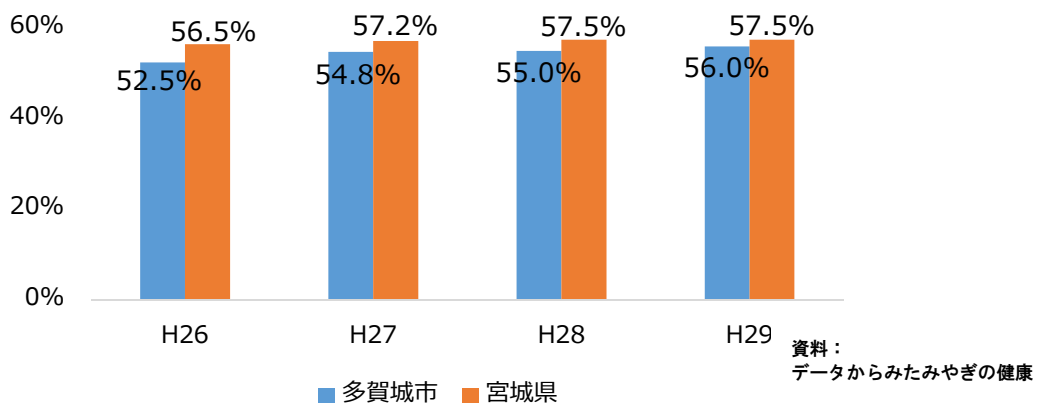
(2) 多賀城市健康診査の受診率

年々微増傾向で推移しており、「多賀城市国民健康保険特定健康診査」同様、宮城県の平均受診率よりも高い状況が続いています。



(3) 協会けんぽ*特定健康診査の受診率

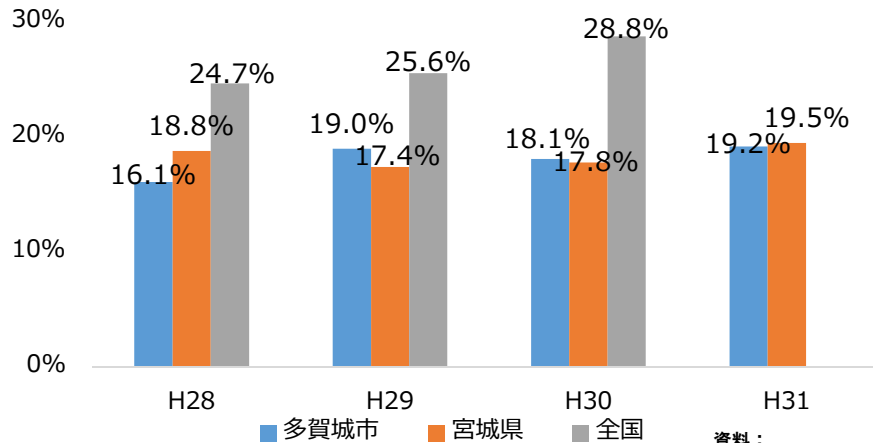
年々増加傾向にありますが、宮城県の平均受診率より低い状況です。



*協会けんぽ…全国健康保険協会を指す。会社員とその家族が加入する被用者保険の一つ

(4) 多賀城市国民健康保険特定保健指導の実施率

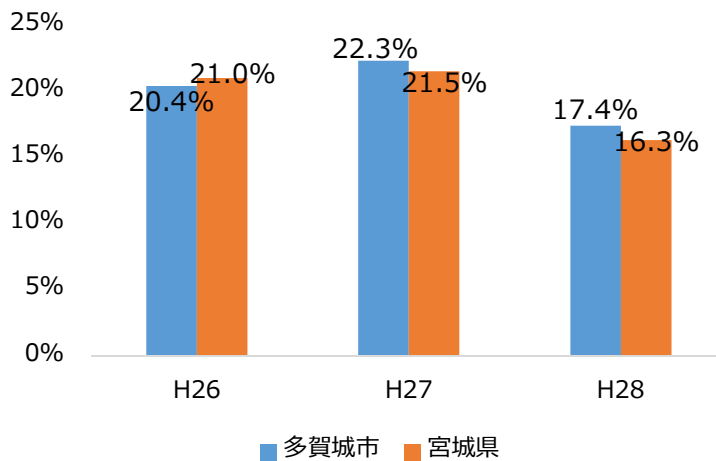
近年19%前後で推移しており、伸び悩んでいる状況が続いています。宮城県の平均実施率をわずかに上回っている年度もあるものの、全国の平均実施率を大きく下回っています。



資料：
 多賀城市、宮城県平成28～31年度：法定報告値
 全国平成28～29年度：厚生労働省 特定健診・特定保健指導の実施状況（全国・保険者別）
 全国平成30年度：国民健康保険中央会速報値

(5) 協会けんぽ特定保健指導の実施率

20%前後を推移し、宮城県の平均実施率よりもわずかに高い状況が続いています。

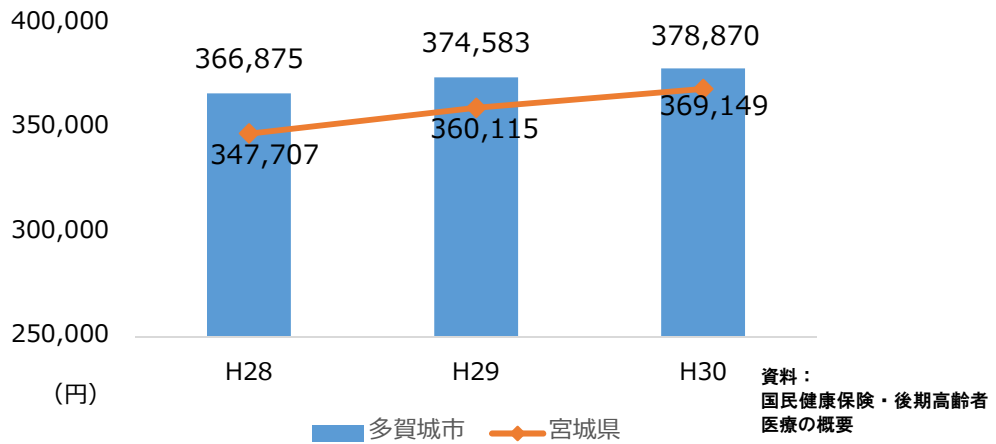


資料：
 データからみたみやぎの健康

4 医療費の状況

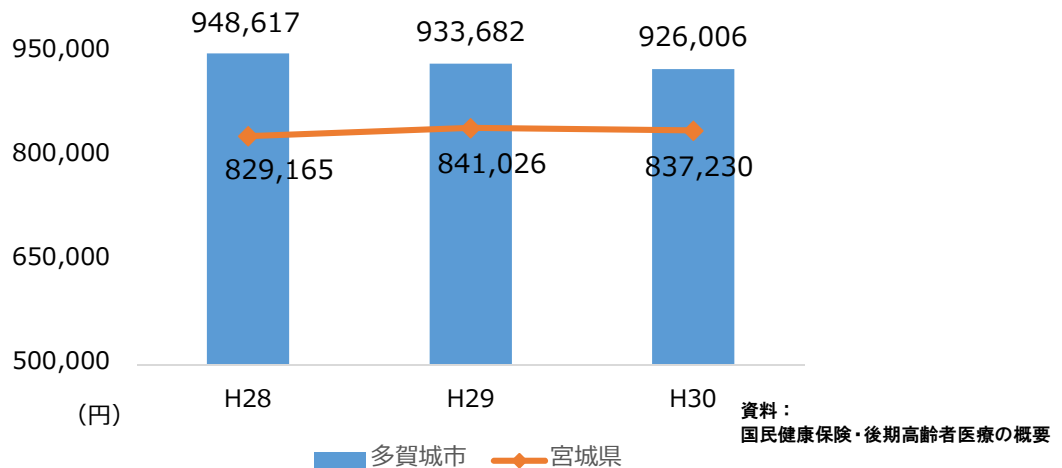
(1) 国民健康保険被保険者一人当たり医療費

年々増加傾向にあり、宮城県の平均よりも高い状況で推移しています。



(2) 後期高齢者医療一人当たり医療費

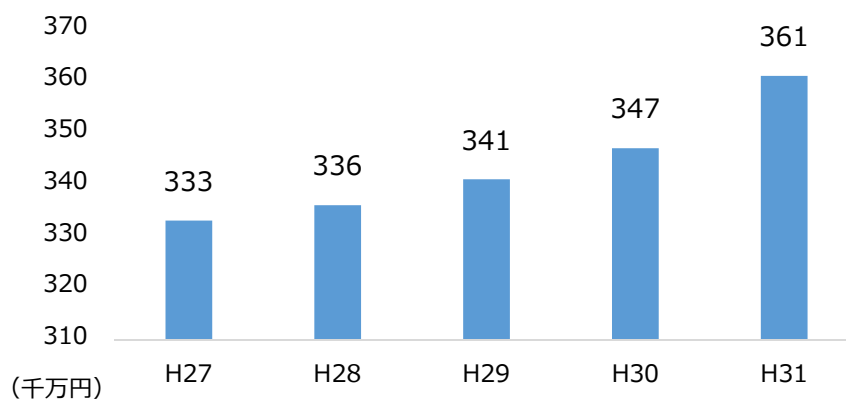
近年減少傾向にありますが、宮城県の平均よりも高い状況で推移しています。



5 介護保険の状況

(1) 介護保険給付費の推移

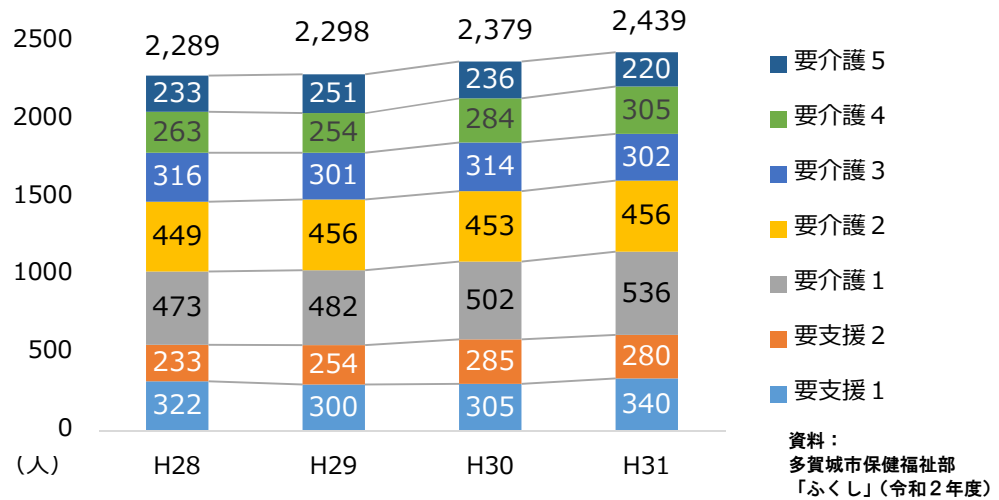
30億円を超え、超高齢社会に伴い年々上昇傾向にあります。



資料：多賀城市保健福祉部介護福祉課 主要な施策

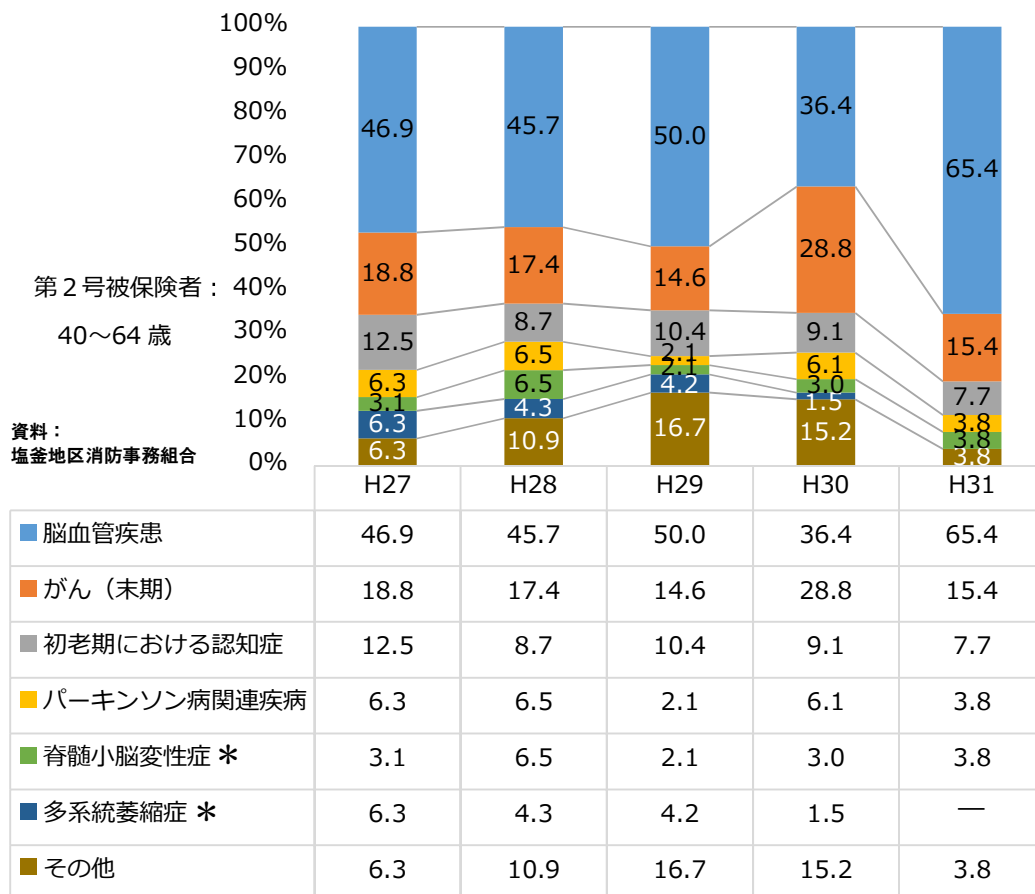
(2) 要介護・要支援者認定状況

年々、多賀城市要介護・要支援者が増加傾向にあり、特に要介護Ⅰの認定者数の増加が顕著です。



(3) 要介護・要支援認定の原因疾患（第2号被保険者）

脳血管疾患によるものが約半数を占め、続いてがん（末期）が多い状況です。



*脊髄小脳変性症…小脳を中心とした神経の変性によって生じる疾患の総称

*多系統萎縮症…非遺伝性の脊髄小脳変性症に対する総称